

米田のFP通信



ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

9月1日は防災の日です。9月1日を防災の日とした経緯について東京消防庁HPには以下のように記載されています。

「9月1日は、関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあり、また、昭和34（1959）年9月26日の「伊勢湾台風」によって、戦後最大の被害（全半壊・流失家屋15万3,893戸、浸水家屋36万3,611戸、死者4,700人、行方不明401人、傷者3万8,917人）を被ったことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されました。」

今月は備蓄や避難用持ち出しバッグの確認などをしてはいかがでしょうか。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

老後の生活を支える年金の現状は？
今年金を受け取っている人はいくら受取っているの？ 厚生労働省の資料で確認しました。

平均寿命10年ぶりに短く

厚生労働省が先月発表した簡易生命表によると2021年の日本人の平均寿命は男性81.47歳、女性87.57歳と2020年とくらべ男性は0.09歳、女性は0.14歳短くなったようです。

原因は新型コロナウイルスの影響で前年を下回るのは東日本大震災があった2011年以来です。

ところで寿命中位数という言葉は聞いたことがありますか？

寿命中位数とは、同い年の人がちょうど半分になる年齢で（同級生が半分になったと考えるとイメージしやすいですね）、男性は84.39歳、女性は90.42歳、平均寿命よりもさらに3歳程度長寿ということになります。

令和3年簡易生命表 「寿命中位数等生命表上の生存状況」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life21/dl/life18-03.pdf>

実際には平均寿命よりも長生きする人が多いということになります。

このようなことを踏まえて老後資金準備、高齢期の医療や介護の準備をしておく必要がありますね。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

52兆1985億円

先月厚生労働省は「厚生年金・国民年金の令和3年度収支決算の概要」を発表しました。

それによると厚生年金の歳出（支給）が48兆4,536億円、国民年金の歳出が3兆7,449億円、合計52兆1985億円でした。

一方歳入は、厚生年金が49兆0,340億円、国民年金が3兆9,433億円でした。

	厚生年金	国民年金
歳入	49兆0340億円	3兆9433億円
歳出	48兆4536億円	3兆7449億円
差額	5804億円	1983億円

すでに年金を受け取っている人は受給額に不満はあるかもしれませんが、いまのところ収支は合っていると見ることができるのではないのでしょうか。

差額は年金積立金に回して運用されています。

	厚生年金	国民年金
積立金	114兆0139億円	7兆7561億円
時価	184兆1928億円	10兆5642億円

積立金は元本、時価は運用後の評価額なのでこちらも順調と見て良いのではないのでしょうか。

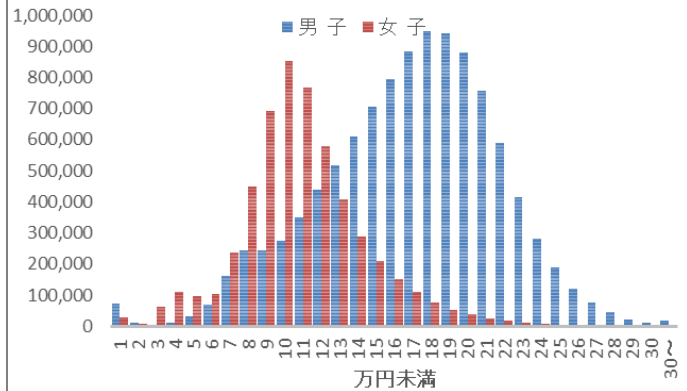
次にこのような収支状況の中、実際に年金を受け取っている人はいくらぐらい受取っているのか見てみましょう。

14万6145円

「令和2年度 厚生年金保険・国民年金事業の概況」によると厚生年金の平均受給額は14万6145円です。

平均額は約14万円なのですが必ずしも自分の受給額が14万円前後になるわけではありません。

下図は男女別の実際の受給額（横軸）とその人数（人・縦軸）を表したものです。



男女ともかなりばらつきがあります。最も人数が多いのは、男性の場合17～18万円、女性は9～10万円です。

こうしてみるとよく耳にする平均値で自分の将来の年金額を想像するのは少し無理があるかもしれません。

今年から年金定期便のはがきに載っているQRコードで簡単に自分の年金の状況を確認することができます（年金アプリ利用の場合）。

一度年金ネットや年金アプリで確認してはいかがでしょうか？